



創立50周年を祝して

～受け継ごう50年の歴史 未来を拓こう大宮別所小～

校長 神田 朋恵

10月8、9日、6年生と日光方面へ修学旅行に出かけました。あいにく両日も雨でしたが、子どもたちの元気に救われ、思い出深い旅行になりました。

1日目、華嚴の滝見学後、戦場ヶ原ハイキングがありました。雨のため、直前まで、付き添いの添乗員さんと教員とで実施をするか悩んだ末でのハイキングでした。木道は滑らないように気を付けさせればよかったのですが、土の道はぬかるんでいるだけでなく水溜りもあり、どこを歩いていいかわからないような場所もありました。その後、湯元源泉と足湯を体験。「日光グランドホテル ほのかな宿 樹林」さんに到着した時、子どもたちの靴はドロドロ、ぐしょぐしょでした。靴下までビショビショの子がいました。玄関・ロビーには多くのタオルマットが引かれていました。それでも、ロビーが少し濡れてしまうような状態でした。

夜に、ふくべ細工の体験がありました。食堂で作業をした後、入り口であったロビーに完成したふくべを並べることになりました。その時、ふと気が付くと、玄関に向けて大型扇風機が2台回っていました。よく見ると、扇風機の間にはストーブが焚かれていました。つまり、温風で、子どもたちの靴を乾かそうとしてくださっていたのです。私は思わずそこにいた従業員さんに、「ありがとうございます。」と頭を下げていました。

翌日は日光東照宮見学です。ホテルでの出会いは一期一会。退館の集いで子どもたちに昨夜靴を乾かしてもらっていた話をしようと考えていたところ、ちょうど取締役顧問の大澤様がお見えになられたので、昨夜の御礼を述べました。すると、大澤様はこのように答えられたのです。

「当たり前のことです。」それも、さらっと。

私は、この話をすぐに子どもたちに話しました。「…また朝から靴が濡れていたら、気持ちが悪くなってしまふよね。でもそんなことがないように、従業員さんたちがみんな靴を乾かしてくれたんですよ。」乾かしてもらっていたことに気付いていない子も多くいたので、まずそこに感動を覚えていました。「先程そのお礼を伝えたのです。そうしたら、代表の方は何と答えてくださったと思いますか。・・・それは当たり前のことです、と答えてくださったんですよ。・・・皆さんは、そんな心遣いをしてくれる、ステキなホテルに泊まったんですよ。本当に良かったですね。」子どもたちはシーンとして話を聞いていました。ある子は「カッコイイ。」と呟いていました。

1日、大宮別所小学校の記念式典が執り行われます。大宮別所小のステキな「当たり前」～今は挨拶と笑顔～を増やしていきたいと願うばかりです。